

第36回松本市長杯争奪球技大会 開催要項

軟式野球・ママさんバレーボール・卓球・ゲートボール・マレットゴルフ・

ソフトバレーボール(令和元年台風19号による市民体育大会中止に伴う改訂版)

- 1 主 催 松本市・一般財団法人松本体育協会
- 2 主 管 長野県軟式野球連盟松本支部／松本市ママさんバレーボール連盟／
松本卓球連盟／松本ゲートボール協会／松本マレットゴルフ協会
- 3 開 催 日 令和元年11月3日(日)文化の日
- 4 開始時刻 整 列：午前7時45分
開会式：午前8時00分 選手役員は全員開会式に参加すること。
(軟式野球第1試合出場予定のチームを除く。)

競 技

- (1) 軟 式 野 球：午前8時30分から
 - (2) ママさんバレーボール：午前9時00分から
 - (3) 卓 球：午前9時00分から
 - (4) ゲ ー ト ボ ー ル：午前9時10分から
 - (5) マ レ ッ ト ゴ ル フ：午前9時40分から
 - (6) ソフトバレーボール：午前9時00分から
- 5 会 場 開会式：松本市総合体育館 メインアリーナ
各競技：次のとおり
- (1) 軟 式 野 球：松本市野球場、あがた運動公園多目的広場
 - (2) ママさんバレーボール：松本市総合体育館 メインアリーナA面B面
 - (3) 卓 球：松本市総合体育館 サブアリーナ
 - (4) ゲ ー ト ボ ー ル：かりがねサッカー場 人口芝コート
 - (5) マ レ ッ ト ゴ ル フ：アルプス公園マレットゴルフ場
 - (6) ソフトバレーボール：松本市総合体育館 メインアリーナC面、本郷体育館
- 6 参加資格
- (1) 松本市民であって当該地区に居住する者(学生・生徒[定時制を含む]を除く)
 - (2) 年齢制限競技に適用する基準日は、平成31年4月2日とする。
 - (3) 当日メンバー登録以外で出場する選手は、運転免許証等、住所・生年月日を確認できるものを持参し、競技開始までに各会場の競技本部へ申し出ること。

7 チーム構成

(1) 軟式野球

- ア 各ブロックの代表地区によるチーム
- イ 1ブロック1チーム以内、全9チーム以内
- ウ 監督を含め、選手9名以上18名以内(監督と選手の兼任、ベンチ入り可)
マネージャー・コーチ・スコアラーは別にベンチに入ることができる。

(2) ママさんバレーボール

- ア 各ブロック内の家庭婦人(35才以上の未婚女性を含む)により構成したチームとする。
- イ 昨年優勝したブロックからは2チーム出場することができる。
- ウ 1ブロック1チームまたは2チーム以内、全10チーム以内

エ 監督1名、副監督1名、マネジャー1名、選手12名(計15名以内)とする。

(監督、副監督、マネジャーと選手の兼任、ベンチ入り可)

(3) 卓 球

ア 各地区の住民により構成したチーム

イ 1地区1チーム以内、全35チーム以内

ウ 硬式、ラージボール混合とする。詳細は競技規程競技別事項を参照・監督を含め、選手8名以上20名以内(監督と選手の兼任可)

(4) ゲートボール

ア 各地区の住民により構成したチーム

イ 1地区1チーム以内、全35チーム以内

ウ 監督1名、選手5名以上8名以内

(監督と選手の兼任不可、ただし監督は不在でも可、うち主将1名)・満60才以上の男女混合

エ 競技は男女混合で行う

(5) マレットゴルフ

ア 各地区の住民により構成したチーム

イ 1地区1チーム以内、全35チーム以内

ウ 男子2名、女子2名(うち主将1名)

(6) ソフトバレーボール

ア 市民体育大会地区対抗競技ソフトバレーボールの部で優勝・準優勝・第3位に入賞した地区
(全16チーム以内、2チーム入賞した地区は2チーム出場可)

各地区の住民により構成したチーム

イ 監督1名、男女各4名以内。選手は監督と兼任できるがこの場合も選手は8名以内とする。
(ベンチ入り可)

ウ 種目はフリーの部1種目とし、選手の年齢は問わない。

エ コート内では常に男子2名と女子2名がプレーしていること。

8 競技方法及び競技規則

次の競技方法によるほか、各種目の現行の競技規則で行う

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| (1) 軟 式 野 球 | トーナメント戦・3位決定戦は行わない |
| (2) ママさんバレーボール | トーナメント戦・3位決定戦 |
| (3) 卓 球 | 予選リーグ戦・決勝トーナメント戦・3位決定戦は行わない |
| (4) ゲ ー ト ボ ー ル | 予選リーグ戦・決勝トーナメント戦・3位決定戦 |
| (5) マ レ ッ ト ゴ ル フ | 36ホール・パー144ストロークプレイによる団体戦 |
| (6) ソフトバレーボール | 参加チーム数にあわせ組合せをします。 |

9 チーム受付(開会式終了後)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (1) 軟 式 野 球 | 松本市野球場・あがた運動公園多目的広場 |
| (2) ママさんバレーボール | 総合体育館1階ロビー |
| (3) 卓 球 | 総合体育館2階サブアリーナ |
| (4) ゲ ー ト ボ ー ル | かりがねサッカー場 |

- (5) マレットゴルフ アルプス公園マレットゴルフ場
- (6) ソフトバレーボール 総合体育館1階ロビー

10 閉会式及び表彰

- (1) 閉会式 競技ごとに行う
- (2) 表 彰 優勝・準優勝・第3位（軟式野球と卓球は3位が2チーム）
優勝チームには賞状と優勝杯（持ち回り）
2位3位チームには賞状とトロフィーを贈る

- 11 組合せ抽選 主将会議にて行う
令和元年10月23日（水）19:00～20:30
松本市総合体育館大会議室

- 12 申し込み 所定の申込用紙により、松本体育協会事務局（松本市総合体育館内）へ
【締切り】 令和元年10月15日（火）17:15 <期限厳守>

ソフトバレーボールに出場を希望するチームは10月18日（金）までに、所定の大会参加申込書に、地区名・申込責任者を記載の上申し込む。メールあるいはファクシミリ送信の場合は、事務局 ☎ 32-7056に確認の電話をしてください。

監督・主将・選手を追加記載した大会参加申込書は、10月23日（水）の主将会議に持参してください。（主将会議以前の提出も可）

- 13 参 加 料 無 料
- 14 雨 天 時 野球は中止。ゲートボール及びマレットゴルフは中止することがある。
決定は午前6時に行う。
- 15 開催の確認 松本体育協会ホームページでご確認ください。
- 16 問い合わせ先 大会本部 TEL 32-7056（松本体育協会）
TEL 45-9511（松本市スポーツ推進課）

※ 個人での開催確認の問い合わせが殺到すると電話回線が混み合い、円滑な応答に支障がありますので、各地区参加責任者あるいは主将等、代表者による問い合わせにご協力ください。

- 17 お 願 い (1) 競技場内の飲食喫煙は競技場のルールに従ってください。
(2) 開会式、屋内競技参加者は体育館用の『上履き』を持参してください。
- 18 マ ナ ー 「上下履き区別の厳守」をしてください。
「喫煙は定められた場所でルール遵守」をしてください。
「定められた喫煙場所がない場合は禁煙」をしてください。
「ゴミの持ち帰り徹底」をしてください。

19 傷害保険について

本大会中に発生した、けが等の補償については主催者が加入した傷害保険の範囲で適用されます。保険内容の詳細等については、松本体育協会ホームページをご覧ください。

20 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護に関する法律および松本市個人情報保護条例ならびに一般財団法人松本体育協会個人情報管理規程に基づき、取得・保有する個人情報を松本市長杯争奪球技大会の運営のために利用します。

なお、大会参加者へのサービス向上を目的とし、氏名・所属・大会結果等についてプログラム・会場内外の掲示板へ掲載及び会場内でのアナウンス、また報道機関への提供および当協会ホームページ上等への掲載を行う場合があります。

第36回松本市長杯争奪球技大会 競技規程

共通事項

1 出場資格

- (1) 松本市民であって、当該地区に居住するもの。ただし、学生・生徒(定時制を含む)は除く。
- (2) 年齢制限競技に適用する満年齢の基準日は平成31年4月2日とする。
- (3) 未登録の選手が出場する場合は、次の時点に競技別競技本部で住所・生年月日を確認できる運転免許証等を提示の上、選手変更の手続きをすること。以後の選手変更は認めない。

【軟式野球】 第1回戦開始までに行う。

【ママさんバレーボール】 試合開始までに行う。

【卓球】 予選リーグ開始までに行う。

【ゲートボール】 第1試合開始までに行う。

【マレットゴルフ】 競技開始までに行う。

【ソフトバレーボール】 試合開始までに行う。

2 失格

- (1) 試合開始時間に遅れたチーム
- (2) 変更手続きをせず登録選手以外の者が出場したチーム
- (3) 有資格者でチーム編成できなかったチーム

3 無資格者の扱い

- (1) 第1回戦の試合開始前に無資格者を発見した場合は、その選手を除いて試合を行なう。
ただし、マレットゴルフは一斉スタートのため、競技開始前に発見した場合は選手変更をしてスタートするが、交代者がいない場合はそのチームを失格とする。
- (2) 試合中に無資格者を発見した場合は、その試合を没収し相手チームを勝ちとする。ただし、無資格者であるかないかの判定が困難な場合は、その試合を続けて行なう。
- (3) 無資格者を含むチームが勝者となっても、次の試合開始前に無資格者を発見した場合は前の試合を無効とし、再試合は行なわず、相手チームを勝者とする。
- (4) すべての競技が終了し、順位が確定した後に無資格者を発見した場合は、そのチームの入賞は認めない。この場合、次点のチームを繰り上げる。
- (5) マレットゴルフ競技中に無資格者を発見した場合は、そのチームは失格とする。

4 ルールは各競技の現行のルールで行う。

5 大会本部は、松本市総合体育館（Tel 32-7056）に置く。

6 申込責任者は、登録選手の出欠を確認し、当日キャンセルを生じさせないようにしなければならない。

競技別事項

軟式野球

- 1 全試合7回戦とする。ただし1試合の試合時間の1時間20分を経過した場合は、新しいイニングに入らないこととする。その時点で同点の場合は、ジャンケンによって勝敗を決する。
点差のコールドゲームは、5回以降7点差とする。
- 2 ベンチは、若い番号が1塁側。

- 3 第1試合の開始時間は8時30分とする。
- 4 雨天の場合は中止する。
- 5 金属バット、捕手マスクは、J S B Bマーク入りの公認用具を用いること。また、金属スパイクシューズの使用は認めない。
- 6 第1回戦の塁審・ボール担当はチームより出す。球審及び準決勝以降の審判は主管団体が行う。
 - (1) 第1試合の塁審・ボール担当は、第2試合の若番チームから2名、老番チームから2名出す。ただし該当ブロックの第2試合がシード戦の場合は、第2試合のチームから4名出す。
 - (2) 第2試合の塁審・ボール担当は、第1試合の勝者から4名出す。
 - (3) 塁審・ボール担当を出さないチームは、原則として棄権扱いとする。
- 7 3位決定戦は行わない。
- 8 バッターとランナーはヘルメットを着用すること。
- 9 キャッチャーはヘルメット・プロテクター・レガース及びファウルカップを着用すること。

ママさんバレーボール

- 1 競技規則は全国ママさんバレーボール連盟「ママさんバレーガイドライン2010」による。
- 2 試合球は、モルテンの白色球を使用する。
- 3 ユニフォームは、各チームで準備すること。(出場ブロックまたは地区名が明記され、統一されたものが望ましい)。主将マーク(幅2cm×長さ8cm)を必ずつけること。
- 4 審判は主審・副審を主管団体、線審・点示を参加チームがそれぞれ担当する。
審判の割当は別途申込責任者に通知する。
- 5 代表者会議は、開会式終了後、バレーボールの競技本部で行う。

卓球

- 1 試合方式は地区対抗団体戦とし、出場順は下記のとおりとする。

1番	硬式ボール	30歳以上	女子	シングルス	(11本5ゲームスマッチ)
2番	ラージボール	一般	男子	ダブルス	(11本3〃)
3番	硬式ボール	40歳以上	男子	シングルス	(11本5〃)
4番	ラージボール	一般	女子	ダブルス	(11本3〃)
5番	硬式ボール	一般	女子	シングルス	(11本5〃)
6番	ラージボール	一般男女	混合	ダブルス	(11本3〃)
7番	硬式ボール	一般	男子	シングルス	(11本5〃)
- 2 予選リーグはすべて7番まで試合を行い、勝率計算も7番(硬式とラージの計)まで計算する。2チームの勝率が同率の場合は、その2チームどうしの対戦の勝者を上位とする。
3チームの勝率が同率の場合は、その3チームどうしの試合数(硬式とラージの計)の勝率で順位を決定する。
 - (1) 試合数による勝率が同じ場合はゲーム数(硬式とラージの計)の勝率とする。
 - (2) ゲーム数による勝率が同じ場合にはポイント数(硬式とラージの計)の合計とする。
 - (3) ポイント数の合計が同じ場合は、各チーム代表者1名による3人のじゃんけんによる。
 決勝トーナメントは4点先取とし、4点先取した時点において終了していない試合は、次の

ゲーム以降を行わないこととする。試合記録は続行したゲーム終了後の結果とする。

- 3 1 番から 7 番までのいずれか 1 試合について、キケンしても試合は成立する。ただし、双方が同一試合をキケンし、3 勝 3 敗になった場合は、上記 2-①～③により順位を決定する。

2 試合以上キケンの場合は、試合を行うことはできるが、不戦敗とする。

試合をキケンして行う場合は、オーダー交換前に対戦する地区の監督および本部に通告しなければならない。

1 試合をキケンした場合、硬式ボールは 0-3 (0-1 1, 0-1 1, 0-1 1)、ラージボールは 0-2 (0-1 1, 0-1 1) として勝率計算をする。

- 4 選手はルールに定められたゼッケン (縦 18 cm×横 25 cm の布に、上段 2/3 に選手名、下段 1/3 に所属地区を記入したもの) をユニフォームの背後につけること。
- 5 予選リーグから、硬式ボール台とラージボール台の 2 台を同時に使用する。
- 6 ボールは、(公財)日本卓球協会公認球ニッタクとする。
- 7 予選リーグ及びトーナメントは、対戦者同士の相互審判とする。ただし決勝戦は主管団体が行う。
- 8 競技規則は現行の日本卓球ルール及び現行のラージボール卓球ルール (競技大会ルール) により行う。但し、タイムアウト制は採用しない。

ゲートボール

- 1 競技規則は現行の日本ゲートボール連合の定める公式競技規則に準ずる。
- 2 競技は、男女混合で行う。
- 3 審判は相互審判制とする。ただしトーナメント戦以降は、専任審判制を原則とする。
- 4 先攻・後攻は予選リーグ戦では、競技時間及び審判割り当て表の左側が先攻・右側が後攻とし、決勝トーナメント戦は、トス又はジャンケンにより決定する。

但し、予選リーグ戦の第 5・第 6 試合以降の先攻・後攻はトス又はジャンケンにより決定する。

- 5 決勝トーナメントの組合せは抽選とする。
- 6 ゲートボール用のスティックを使用し、ゼッケンは各チームで用意すること。

マレットゴルフ

1 競技方法

- (1) 使用コースはアルプス公園マレットゴルフ場とする。

桜コース 18 ホール、赤松コース 18 ホール計 36 ホール、パー 144 ストロークプレイとする。

- (2) 選手は同チームの選手と同グループでスタートしない。

2 組合せ抽選

グループ組合せ、グループリーダー及びスタートホールについては主催者が決定する。

3 順位

チーム全員の打数を合計した点数により順位を決定する。但し同点の場合はチーム年齢の合計が多いチームを上位とする。年齢も同数の場合は代表者によるプレーオフによって順位を決める。

4 失格事項

前のグループを追い越してプレーしたグループと、プレーするコースを間違えたグループのメンバーは全員失格とする。

5 受 付

- (1) 受付時間 9:00～9:30まで(時間厳守) 場所:1～2番ホール南側広場
- (2) 参加者は地区別に必ず4名一緒に受付をする。
- (3) 受付で組合せ表・スコアカード・スコア提出カードを受け取る。

6 開始式 <9:40予定> 場所:1～2番ホール南側広場

- (1) 組番号札前に組合せ順に並ぶ。
- (2) 閉会の辞が終わるまで列を乱さず、私語を慎むこと。

7 競技進行

- (1) 開始式終了後、10分前後を確認のうえスタートする。
- (2) ローテーションは1番～36番とする。
- (3) グループリーダーは組合せの先頭が行う。
- (4) 競技中のトラブルは、グループリーダーを中心にその場で解決処理する。
- (5) 全員打ち終わるまで絶対に前へ出ないこと。
- (6) 2打目より必ず打数を呼称すること。
- (7) ホールアウトしたら、速やかにコースの外に出て後続の選手に合図し、全員でスコアを確認して各自記録する。
- (8) 判定員の指示に従うこと。
- (9) 競技が終了したら全員がスコアの確認をし、各自受付に提出用カードを提出する。
- (10) 全員がホールアウトするまで閉会式会場の近くで休憩する。
- (11) 成績集計は約30分の予定。

8 閉会式 <12:30予定> 場所:開始式と同じ

- (1) 地区別に並んで整列する。
- (2) 表彰は、優勝・準優勝・第3位まで行う。
- (3) 閉会の辞が終わるまで列を乱さず私語は慎むこと。

9 松本市長杯争奪球技大会マレットゴルフ競技規則

当規則には、アルプス公園マレットゴルフ場のローカルルールを含む。

<競技規則>

- (1) 原則ノータッチプレーですが、ボールに砂、落ち葉などがついた時は、同伴者の了解を得て、マークをしてボールを拭く。
ボールが丸太に当たって打てない時は、直角にワンヘッド出して無罰で打つ。
ボールがグリーン上にある時は、お先かマークする。
- (2) 桜コースの14番にレディースティーがあるので80才以上の男性はそこから打つ。
第一打のボールの静止位置のわからないホールは交替で見ること。
- (3) OBは白杭と白杭を結んだ線を越えた時、球止め丸太を超えた場合、植栽に入った時、植栽の杭に当たった時、植栽の上を超えた時、すべてOB。－1打罰打ち直し
- (4) 紐線がある時は直角に出して打てる。－無罰
- (5) 打順は、競技開始スタートホールはグループリーダーより順次メンバー順に打ち、2打目からは、前のホールで打数の少ないメンバーより打つ。

(6) ボールは70-75φのものを使用する。予備球同型を必ず持参すること。

スティックは特に指定しない。(マレットゴルフのメーカー品ならよい)

(7) 赤松コース22番にあるゲートは、前からでも後からでも通過してよい。

(8) その他の規則は、通常のマレットゴルフ競技のルールに基づき行う。

<マナー>

(1) 決められた時間には集合し、出場者は時間までに受付をする。

(2) 参加者は、開閉会式では私語を慎み厳粛な態度で臨む。

(3) プレーヤーがアドレスしたときは競技者と応援者は静粛にする。

(4) 同伴競技者が打ち終わるまでは、前方に出ないこと。

(5) 打った後の足跡、ショットの穴は必ず整地しておくこと。

(6) 競技中は、同伴者に不快感を与えるような言動は慎むこと。

(7) 競技中は禁煙とする。

ソフトバレーボール

1 競技上の注意事項

(1) ユニフォーム等の服装は原則として定めないが、チームごとに統一することが望ましい。

(2) 背番号、胸番号は、各チームで準備し必ずつけること。(地区名を記入したもの)

(3) 監督およびキャプテン(主将)は、監督およびキャプテンであることが分かるものをユニフォームにつけること。腕章をもってキャプテンマークに代えることができる。

(4) エントリー変更の有無にかかわらず、構成メンバー表を提出すること。

また、選手変更がある場合は住所・年齢を確認できるものを持参すること。

(5) 第1試合は開会式終了後、コートを整備が終了しだい開始する。

(6) 構成メンバー表は試合開始10分前までに本部へ提出すること。

(7) サーブオーダー表はセットごとに提出する。

(8) 原則として、予選リーグのあと決勝トーナメント戦を行う。

(9) 決勝トーナメント戦の3位決定戦も実施する。が、この限りでない。

(10) 現行の(公財)日本バレーボール協会制定ソフトバレーボール競技規則に基づいて行う。

2 審判等

(1) 予選リーグ、決勝トーナメントとも全試合相互審判制とする。

(2) 審判・補助員は審判担当チーム5名によって行う。

(3) 組み合わせ抽選は主将会議で実施する。

(4) 審判を担当する順序は、組み合わせ決定後別途通知する。

(5) 試合球は(公財)日本バレーボール協会認定の(株)モルテン製を使用する。